ひのっこきょういく

日野市教育広報
第81号

■平成23年9月16日発行
〒191-8686 東京都日野市神明1-12-1 TEL.042-585-1111(代)

発行　日野市教育委員会（編集 教育部学校課）

教育目標
ひらこう世界へ
のびようともに
つくろう夢を
こえよう自分を

紙面から

新教育委員紹介・教材寄贈・コラム …… 1
教科書採択・二中ＰＴ・夏季教員研修 …… 2
ひのっ子がんばっています …… 3
里山・郷土資料館特別展示・他 …… 4

一勤労市民の感覚・感性で

日野市教育委員会委員　髙木　健夫

この度、新たに教育委員に任命されました。宜しくお願い致します。

私は、これまで教育行政に携わった経験もなく、教育関係の専門家でもありませんので、広範な教育委員会の役割や責任等について充分認識できていませんが、私自身この職務に重責を感じると共に、非常に緊張をしながら教育委員の活動を始めています。

今回の教育委員の任命に際しまして、日野市の教育行政の状況を見てみますと、「教育のまち日野」を目指した「日野市学校教育基本構想」の策定など、随所に、これまでに諸先輩により積み上げられてきました数多くの実績や、学校教育を取り巻く関係者や市民の皆さんの熱意や温かい想いを、強く感じています。これらの基本構想等に込められた目標や方針・施策の達成や実施に向けて、教育委員会の一員として、一生懸命取り組みたいと考えています。

また、三月十一日の東日本大震災発生以降、大震災の影響もあり、日本社会全体が大きな変革の渦の中にあります。当然のことながら、日野市の子ども達を取り巻く生活や教育環境も大小の影響を受けつつあります。大震災の直接・間接的な影響から、子ども達の「安全・安心」をどのように守っていくのか、大変大きな課題だと考えています。多くの市民の皆さんや教育関係の皆さんとのコミュニケーションや対話を大切にしながら、課題解決に向けて取り組んでいきたいと思います。

私は、日野市に所在します民間企業に三十年以上勤務しています。学校教育の現場については、自分の子ども達の授業参観や学校行事を通じての経験しかありません。従って、今後の職務遂行に当たっては、積極的に教育現場に足を運び、関係する皆さんとの対話等、自らの現場での体験や経験を通じて、実態の把握や認識を深めていきたいと考えています。また、私のこれまでの企業活動や社会生活を通じて得てきました事を、非力ではありますが、一勤労市民の感覚・感性で、日野市の教育行政の更なる発展に貢献したいと考えています。皆様のご支援・ご協力を、宜しくお願い致します。

（庶務課）

特別支援教育講演会を開催

平成19年度から始まった特別支援教育を広く市民に理解していただくために、特別支援教育講演会を実施します。

今回のテーマは、「ひのスタンダードの取組～通常の学級における特別支援教育の推進～」と題して、明星大学人文学部小貫悟准教授にご講演いただきます。

【日時】11月26日（土）
午後1時30分から3時30分まで
（午後1時より受付）
【場所】大坂上中学校　食堂
（大坂上4―17―1）
【申込み先】講演会に参加希望の方は、特別支援教育推進チームに事前にお申込みください。
※お車でのご来校はご遠慮ください。
※スリッパなど履き物をご持参ください。
◇問い合わせ先＝特別支援教育推進チーム・内線5261

スーパーいなげやから　地域の小学校へ環境教材を贈呈

昨年度に続き、スーパーいなげやより、レジ袋無料配布中止に伴う収益金を還元するため、市内の小学校に環境関連の教材を贈呈していただきました。

スーパーいなげやは、これまでも社会・環境活動に積極的に取り組まれ、「いなげや環境活動宣言」をはじめ、社会環境活動レポートの作成や、レジ袋削減に向けてレジ袋無料配布中止を実施しています。

このたび、いなげや市内3店舗から、近隣の日野第一小・日野第四小・東光寺小へ環境学習の発展に向けて環境教材の贈呈式が行われました。

今後も、お買い物には、必ずマイバッグをご持参いただき、レジ袋を断るなどの行動を実践し、大切な地球の資源や環境を守っていきましょう。

スーパーいなげや様には、この場を借りて改めて御礼申し上げます。

（庶務課）

コラム　基本の徹底

日野市公立中学校校長会
会長　中野　秀樹

柔道の基本は、『受身』です。剣道の基本は、『素振り』です。

いずれも、どんな上位の有段者であっても常に怠らずに行う『稽古』の基本です。

『受身』も『素振り』も体に叩き込まなければ使いものになりません。

言い換えれば、基本とは、体に叩き込むものであるといえます。

ならば、小・中学生が学ぶべき基礎・基本も体に叩き込むように学ばせる必要があるのではないでしょうか。

最近の大学生は『ゆとり教育世代』といわれています。

ある教授曰く、「経済学部の学生でありながら、『四則計算』が十分にできない学生がいます。基礎・基本を徹底して繰り返し、五感を使って、摺りこませてほしいです。ゆとり教育世代は繰り返しの学習が少な過ぎるようです。」

基本をしっかり身に付けないと「応用力」は生まれない。徹底した繰り返しで、基礎・基本を確実に定着させていくことを今一度、見直す必要があると思います。